令和7年度鳥取県ツキノワグマ等出没対応マニュアル作成業務仕様書

1 業務名：令和7年度鳥取県ツキノワグマ等出没対応マニュアル作成業務

2 履行期限：令和8年3月24日まで

3 目的

近年、ツキノワグマ等（以下「クマ等」という）の人里への出没が増加しており、市街地等における人身被害の発生が懸念される状況にある。こうした背景を踏まえ、国は住居集合地域等において、一定の条件下で銃猟が可能となるよう（緊急銃猟）、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号。以下「法」という。）の改正を令和7年4月18日に行い、現在、政令や省令の整備が進められている。

本業務では、県内市街地等におけるクマ等出没事案に対し、これらの法改正を踏まえた迅速かつ的確な対応に向けた実施体制の構築のため、「ツキノワグマ等出没対応マニュアル（案）」を作成し、それに基づく実地訓練を実施するとともに、訓練結果を検証し、得られた知見を反映させた「ツキノワグマ等出没対応マニュアル」をとりまとめることを目的とする。

4 業務内容

(1) ツキノワグマ等出没対応マニュアル（案）の作成

法令改正や国のガイドラインに関する最新情報を収集し、発注者とともに国・市町村・警察などの関係機関の意見を聴取しながら、関係機関の役割、平時における事前準備、通報から捕獲等までの対応手順や留意事項、現状回復や損失補償などの捕獲後の処理など必要な事項について、本県の実情にそったマニュアル（案）を作成する。

(2) ツキノワグマ等出没対応実地訓練の実施

(1) で作成したマニュアル（案）に沿った実地訓練を実施する。訓練では、住宅街や民家の庭先へのクマ等の出没といった現実的なシナリオを想定し、一連の流れを再現する。

訓練は県内1か所で実施し、時期は令和7年12月末までを目安とする。参加者は県（鳥獣対策課、地方機関）、市町村、警察（県警本部、警察署）、猟友会等とし、会場地以外の関係者にも幅広く参加を呼びかけることとする。

ア 出没対応訓練実施計画の作成

訓練実施計画には以下の内容を含めるものとする。

- ・実施時期、場所
- ・想定シナリオ
- ・参加者の役割分担
- ・訓練のタイムテーブル
- ・使用機資材

- ・ 訓練終了後の意見交換会の実施
- ・ 訓練の記録の作成

イ 会場・機資材の確保及び参加者のとりまとめ

訓練会場、必要機材の確保及び参加者のとりまとめを行うこと。訓練前に関係者と打合せを行い、関係機関に対し訓練シナリオや役割分担等を共有する。

ウ 訓練の実施

上記アの実施計画に従い、クマ等の出没を想定した実地訓練を実施する。訓練時の受注者の主な役割は、司会進行、写真等の記録、議事録の作成とし、詳細は発注者と協議のうえ決定する。訓練終了後には、参加者による意見交換会を開催し、訓練に参加した関係機関の役割遂行における課題や改善点を整理する。訓練に必要な資機材は、原則受注者が準備することとするが、発注者が所有するものについては、受注者に貸与する。

(3) マニュアル（案）のブラッシュアップ及び最終とりまとめ

(2) ウで整理した結果を踏まえ、(1) で作成したマニュアル（案）をブラッシュアップし、最終案としてとりまとめる。

5 成果品

本業務の実施結果について取りまとめ、以下のとおり提出するものとする。

- ・ 実績報告書 1部（電子媒体を含む）

6 成果品の取り扱い

本業務の成果に係る一切の権利は発注者に帰属するものとし、発注者の許可なく他者に公開してはならない。

7 機密情報及び個人情報

受注者は、機密情報及び個人情報を善良なる管理者の注意義務をもって管理するものとする。

8 その他

本仕様書に定めのない事項については、発注者と受注者が協議して決定する。